

待鳳だより

(特別号)

平成27年3月18日

京都市立待鳳小学校
校長 中野 洋

平成26年度の活動も終わりをむかえ、20日には6年生50名が卒業します。年度末をむかえるにあたり、先日、児童・保護者へのアンケート調査を行いました。今回は、今年度、重点を置いた取組（学力向上や家庭学習、健康教育など）について評価できる項目をアンケート項目に加え、質問項目を変更した。その結果もふまえながら、学校運営協議会で、今年1年の振り返りと次年度に向けた課題等について協議していただきました。アンケート結果や運営協議会からいただいたご意見を、今後の取組に活かしていきたいと考えております。

【アンケート内容に関わって】

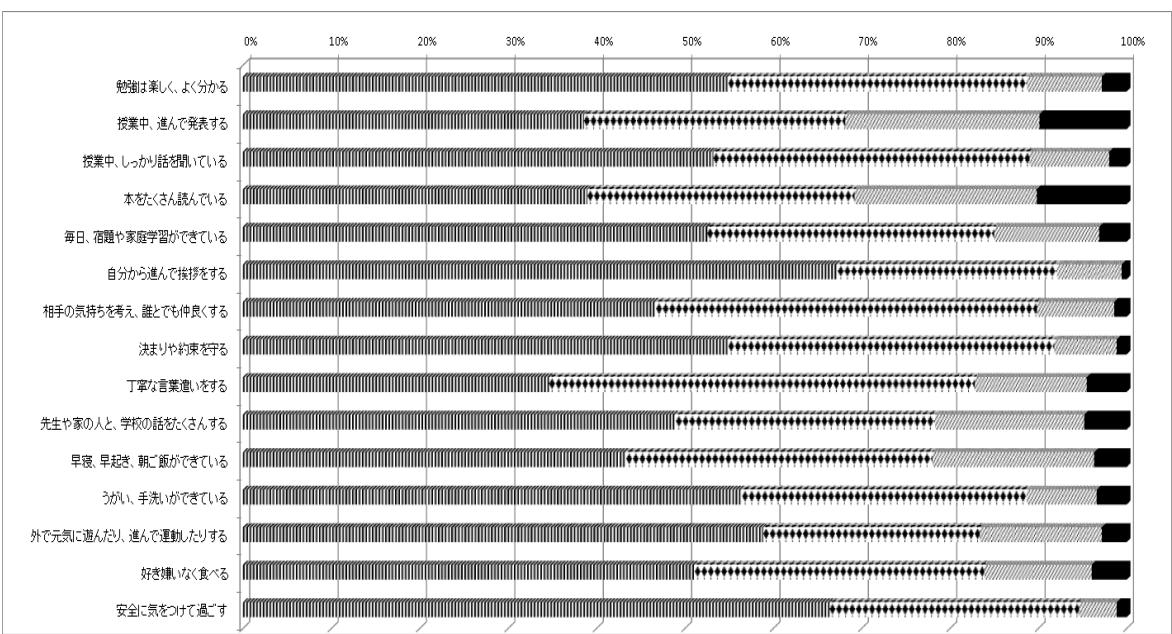
- ・全校の結果集計だけでみるのではなく、学年、学級ごとのデータを分析し、取組や指導に活かすといいのではないか。
- ・児童へのアンケートQ7のように、「相手の気持ちを考えて」が加わることによって、仲良くすることの意味を考えられるだろう。アンケート結果は、素直な結果を表していると思われる。結果に一喜一憂するのではなく、毎年アンケートをとることにより、それぞれの質問の意味を意識化させることが大切だと思う。
- ・保護者の学校やPTA行事への参加が少ないが、親のコミュニケーション力の低下や、それぞれの行事への魅力度が関係しているのではないかと思う。今年初めて実施した茶道体験教室や、お泊り会など、魅力のある行事には多くの参加がある。
- ・学校の安全に関わって、中庭の校内放送が聞き取りにくいので、万一の場合に備えて、整備の必要がある。

【次年度に向けて】

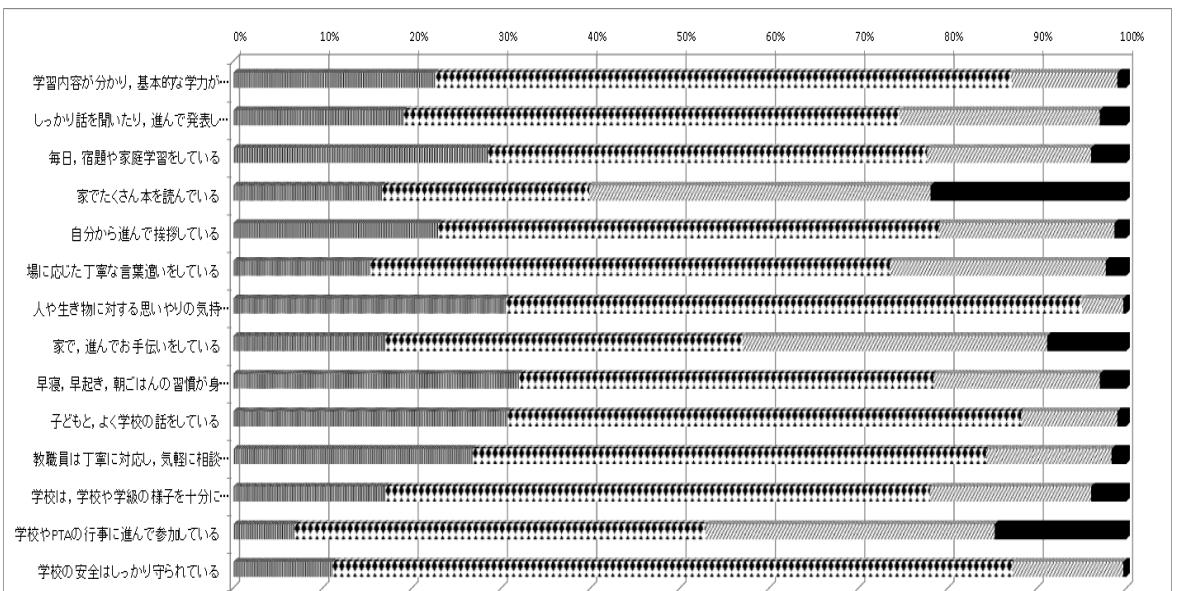
- ・学校運営委員会に多くの教職員が参加するようにし、運営委員の方や地域の方とのつながりを深めるようにしていきたい。
- ・今後、それぞれの団体の取組について、よりよい内容に改善したり、見直したりしていくことが大切である。

児童・保護者アンケート

児童へのアンケート結果



保護者へのアンケート結果



【保護者アンケート回収率85.5%】

保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも、本校教育の推進にご理解とご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。